



「原子力安全」調査専門委員会 放射線影響分科会準備会開催

「原子力安全」調査専門委員会に設置された放射線影響分科会（主査：保健物理・環境科学部会部会長 占部逸正）での課題及び進め方等を検討するための準備会を平成23年4月16日(土) 13:00 から 15:30 に開催した。

準備会では、「原子力安全」調査専門委員会において、放射線影響・環境影響について分析・検討する分科会の名称を放射線影響分科会とすることとした。

本分科会は、保健物理・環境科学部会、放射線工学部会及び社会環境部会で連携して分析・検討を進めることとし、分科会メンバーは、占部分科会長を中心に、上記各部会から、分析・検討事項に関連した専門家を早急に選定することとなった。

当分科会の短・中期的な分析・検討課題としては、現在公開されている土壌や空間線量などの放射線関連情報に必要な情報を加え、系統的に整理・分析することで、今後の防災対策実施の際の基本的な情報に資するとともに、より分かりやすい放射線情報を国民に提供する視点からの検討を行うこととした。また、放出終息後の回復措置の基本的な考え方等の検討を開始することとした。これらの保健物理や環境科学の関連する応急対策や回復措置の検討に際しては、広い視野からこの問題に取り組むために、当部会と関連の深い日本保健物理学会をはじめとする放射線関連学会と連携を図り検討を進めていくこととした。